国際交流委員会　　　　　　　　　　　**報告**　　　　　　　　　　　委員長　久保義弘

委　員

岡村康司、○久保義弘、酒井秀紀、樽野陽幸、西田基宏、西谷友重、西村幸男、渡部文子

**報告書作成日**

2021年 9月 5日

**報告事項**

**[1] 第99回大会における国際交流委員会企画シンポジウムについて**

第99回 日本生理学会大会（仙台）における国際交流委員会企画シンポジウムについて、国際交流委員会で議論を行った。以下の2企画を立案して大会事務局に提出し、採択いただいた。現時点では、特に、海外の参加者がオンサイトで参加できるか、オンラインでの参加となるか、未定である。

日台韓合同シンポジウムについては、両国の生理学会にコンタクトして講演者を決定し、学会間合同シンポジウムとした。神経科学分野のベルギー・日本合同シンポジウムについては、最適任として選考したベルギーの講演者がベルギー生理学会の会員ではなかったため、学会合同の形とはならなかった。

------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**台湾生理学会（CPS）・韓国生理学会（KPS）・日本生理学会（PSJ）合同シンポジウム**

タイトル：

イオンチャネル – 生理と病態

（Ion channels in physiology and diseases）

オーガナイザー・座長：

　　日本生理学会：　　樽野　陽幸（京都府立医科大学大学院医学研究科）

　　韓国生理学会：　　Sung Joon Kim（ソウル国立大学医学部）

講演者：

　　Sung Joon Kim（ソウル国立大学医学部）

　　Chih-Yung Tang（国立台湾大学医学部）

　　Rizki Tsari Andriani（生理学研究所、現所属：大阪大学大学院医学系研究科）

　　沼田 朋大（福岡大学医学部）

樽野　陽幸（京都府立医科大学大学院医学研究科）

------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

ベルギー・日本合同シンポジウム

タイトル：

ロコモーション：　脊髄、脳幹、小脳、大脳皮質

（Hierarchical control of locomotion）

オーガナイザー・座長：

　　日本側：　　　　西村　幸男（東京都医学総合研究所）

　　ベルギー側：　Aya Takeoka（ルーベン脳研究所（ベルギー））

講演者：

Aya Takeoka（ルーベン脳研究所（ベルギー））

西村　幸男（東京都医学総合研究所）

中陦　克己（岩手医科大学医学部）

村上 誠祥（山梨大学 大学院総合研究部）

**[2] 海外の生理学会との連携活動について**

2020年3月21日- 22日に台北にて開催が予定されていた、Chinese Physiological Society (CPS) 等の台湾の基礎医学関連の学会連合による、The 35th Joint Annual Conference of Biomedical Sciencesに、樽野陽幸氏が講演者として招待されていた。しかし、COVID-19の影響により延期となった。その後、紆余曲折を経て、最終的に2021年6月27日にオンラインにて開催され、樽野氏がシンポジウムにて講演を行った。

**2022年事業計画**

上述の2022年3月の国際交流委員会企画シンポジウム2件において、招へいする近隣枠の韓国および台湾の講演者2名の旅費（上限15万円 x 2）、 および遠方枠のベルギーの講演者1名の旅費（上限25万円 x 1）、総計55万円（上限）が必要となる。ただし、COVID-19の感染拡大の状況により海外から日本への招へいが実施できない場合は、この予算は不要となる。

2023年3月の第100回大会においては、記念式典におけるIUPSの代表者等の出席、国際交流委員会企画のシンポジウム3件程度を実施できるよう、大会本部、および100周年記念事業委員会と相談の上、準備を進めて行きたい。

**理事会への提案 （議事として諮りたいことをお書き下さい）**

無し